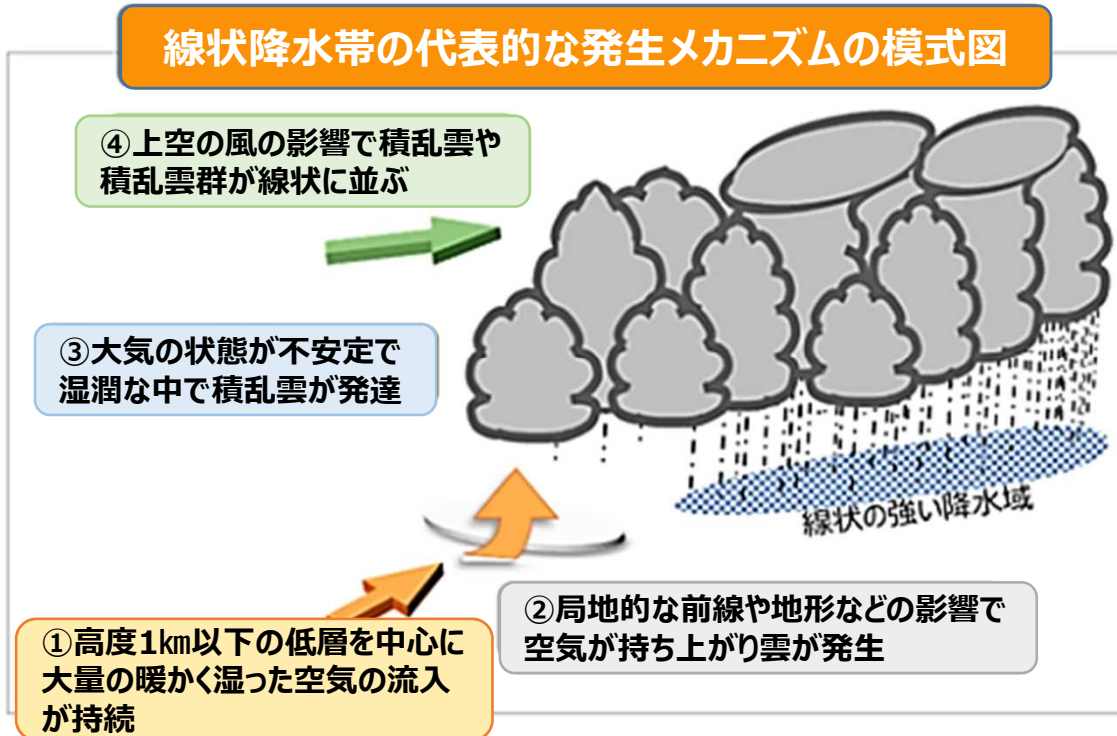


線状降水帯とは

線状降水帯とは？

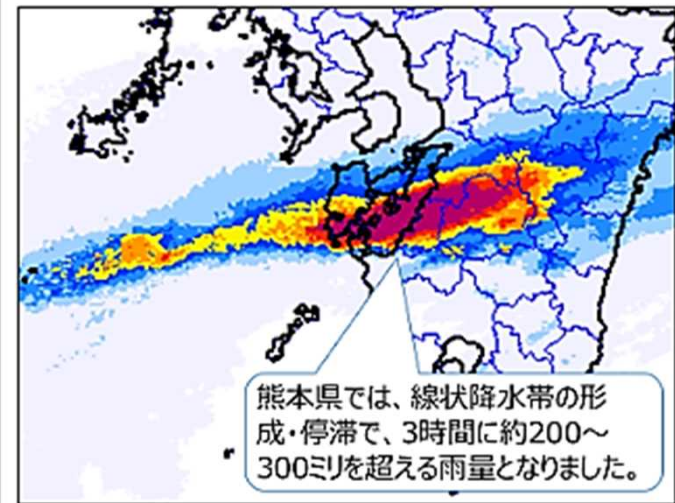
- ▶ 次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、長さ50～100km程度、幅20～50km程度の線状に伸びる強い降水域を線状降水帯といいます。
- ▶ 線状降水帯による顕著な大雨によって、毎年のように数多くの甚大な災害が生じています。

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



線状降水帯の例

令和2年7月4日6時までの3時間雨量(解析雨量)

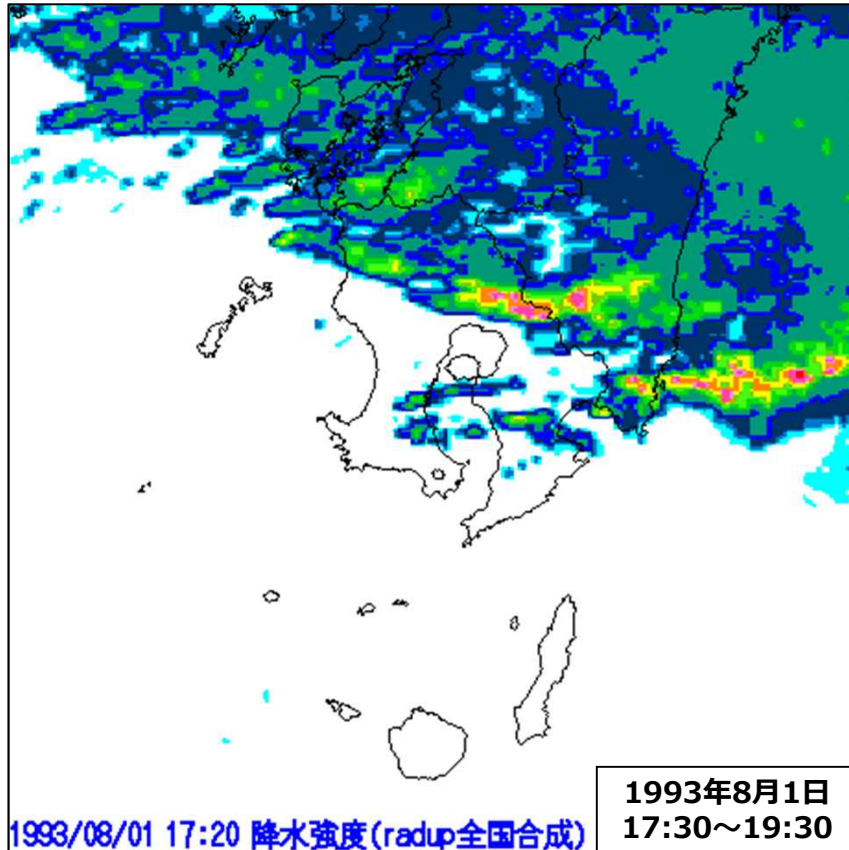


1 20 40 60 80 100 120 150 mm (ミリ)

※ 線状降水帯の抽出は、 Hirockawa et al. (2020a, b) による。

- ・ Hirockawa, Y., T. Kato, H. Tsuguti, and N. Seino, 2020a: Identification and classification of heavy rainfall areas and their characteristic features in Japan. J. Meteor. Soc. Japan, 98, 835-857. <https://doi.org/10.2151/jmsj.2020-043>
- ・ Hirockawa, Y., T. Kato, K. Araki, and W. Mashiko, 2020: Characteristics of an extreme rainfall event in Kyushu district, southwestern Japan in early July 2020. SOLA, 16, 265-270. <https://doi.org/10.2151/sola.2020-044>

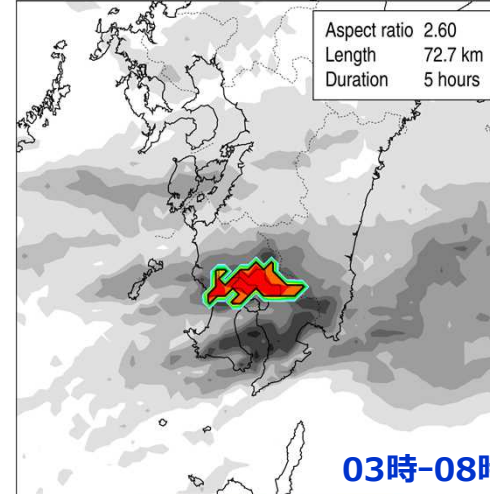
「8.1豪雨」では線状降水帯が発生していた



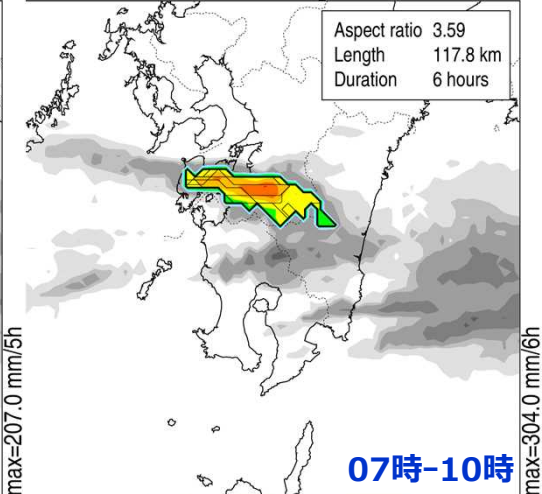
【1993年8月1日】大雨が数時間にわたり集中的に降った事例

気象庁 気象研究所の解析による

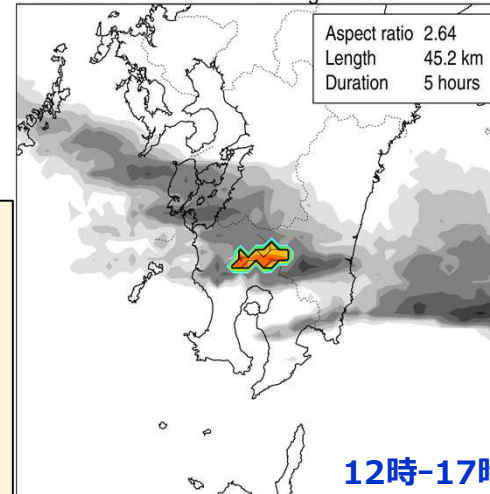
03:00 JST 01 - 08:00 JST 01 August 1993



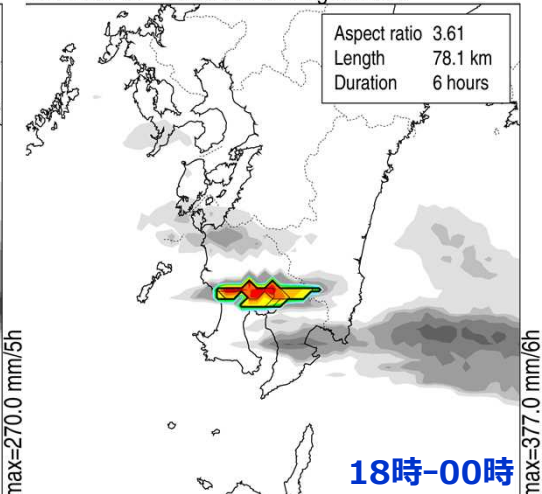
07:00 JST 01 - 13:00 JST 01 August 1993



12:00 JST 01 - 17:00 JST 01 August 1993



18:00 JST 01 - 00:00 JST 02 August 1993

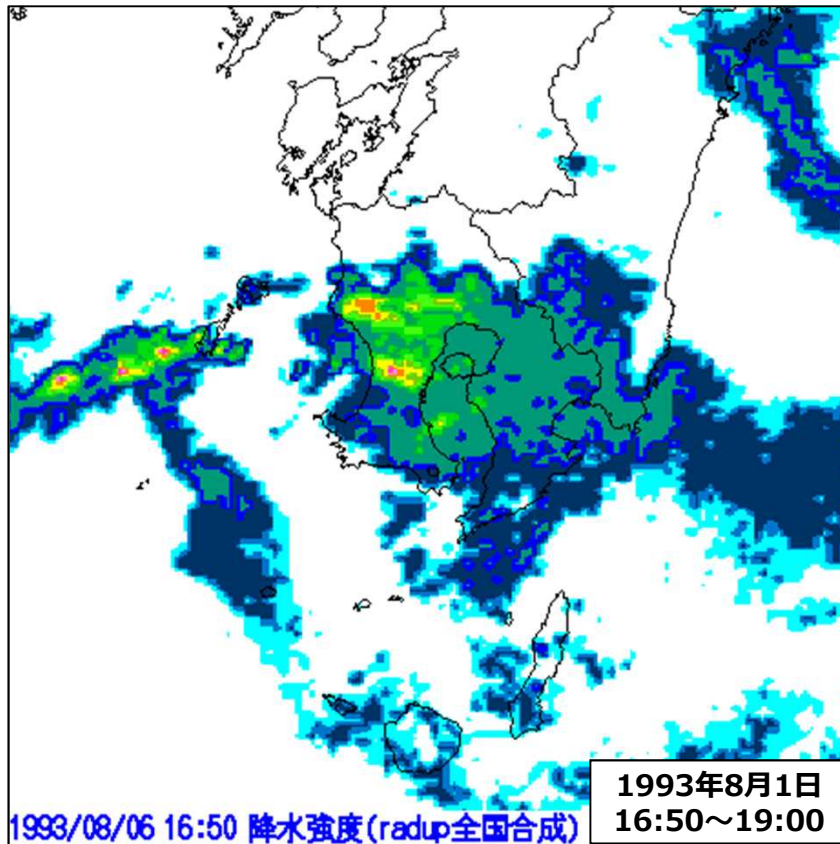


- **8.1豪雨は、県内で複数の線状降水帯が発生しました。**
- **特に、始良地区とその周辺地域では、明け方から朝の時間帯と、午後には2回発生したと考えられます。**

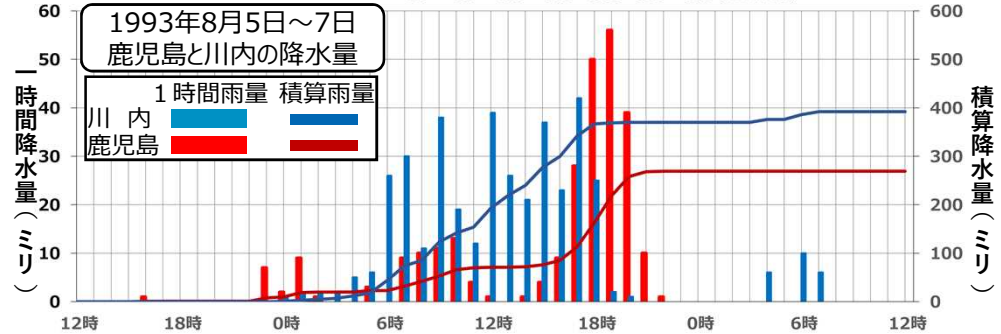
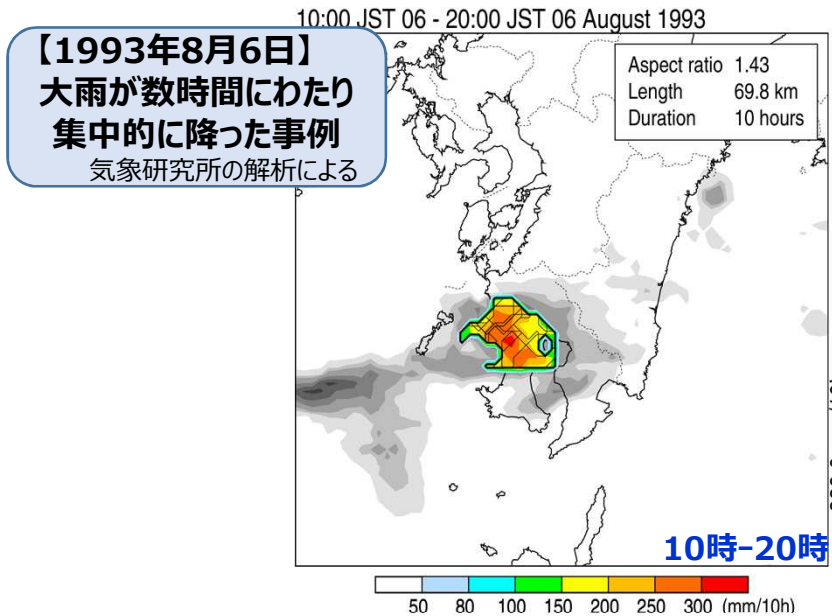
※上図の説明

前3時間積算降水量が100mm以上の分布域の面積が500km²以上に広がり、且つ、その領域内の最大値が前3時間で150mmh以上を含む強雨域が5時間以上持続した事例

「8.6豪雨」では線状降水帯は発生していなかった



1993/08/06 16:50 降水強度(radup全国合成)



- 8.6豪雨は、線状ではない（円形に近い）降水域が、狭い範囲に長時間にわたり次々と発生・発達しました。
- また、規模の小さな低気圧が薩摩半島中部を通過したことが、この降水域をさらに発達させた要因のひとつと考えられています。
- このように強雨域の形成過程や形状を考慮すると、8.6豪雨は線状降水帯ではなかったと考えられます。